



特定非営利活動法人

奈良県防災士会 広報

(日本防災士会奈良県支部)

2024/JAN

No.30

bousainara.com

理事長あいさつ

特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 末田政一

あけましておめでとうございます。旧年中は奈良県防災士会の活動にご理解とご協力を賜りありがとうございました。

令和5年は新型コロナの5類移行で大きな変化がありました。しばらく制限されていたことが出来るようになり、防災訓練や研修会等の数はコロナ禍前に戻りつつあります。しかしながら行動制限が緩和されても、新型コロナがもたらした影響は少なからず残っています。奈良県防災士会が目標とする顔の見える関係づくりも、長らく懇親会が封印されていたことから、新しい出逢いの機会が減っていることが気になっています。そこでまず今年は懇親会を実施し、加えて研修会や訓練の応援要請などを通じてコミュニケーションの復活を目指します。初めての方もお気軽にご参加ください。また参加頂けない方にもホームページや広報誌等を通じて情報共有を行います。

昨今、紙ベースからの脱却が進められています。効率化や経費削減だけではなく、推奨や法律で定められたものまであります。日本防災士会（本部）では急速にデジタル化を進めた結果、多くの混乱が発生しました。奈良県防災士会では様々な方へ対応をすべく、安い印刷を利用するなど費用を最小限に抑えながら、今後も併用して情報をお届けしてまいります。

奈良県主催の防災士の養成講座（防災リーダー研修）も、去年は久しぶりに沢山の方が受講されました。しばらく横ばいだった会員数も増加が予想されますので、顔の見える関係を維持出来る体制づくりと、地域の安全のために今一度基本に立ち返り、防災士ひとりひとりのスキルアップを目標として取り組んでいく所存です。

ここ数年、大きな災害が各地で発生しています。今年こそは災害のない年になりますように。

活動報告

■2023年(令和5年)8月～12月末の活動 ※参加人数は、主催者発表による。

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数
8/3(木)	学校安全教室事業「防災研修会」 学校安全に係る学校防災教育の在り方と避難所開設・運営訓練	大和高田市	県教委:健康安全教育課	35人
8/5(土)	日本防災士会大阪府支部総会	大阪府	日本防災士会大阪府支部	60人
8/9(水)	奈良市自主防災組織新会長研修	奈良市	奈良市自主防災防犯協議会	20人
8/16(水)	本部理事会	—	日本防災士会	—
8/19(土)	被災地先遣調査	鳥取県	奈良県防災士会	3人
8/23(水)	お天気フェア	奈良市	奈良地方气象台	自由参加
8/26(土)	研修会「大規模災害に備える」 ～自分で守る、自分で支える～	大和郡山市	奈良県土地家屋調査士会 三室支部	10人
8/27(日)	佐保台親子防災教室	奈良市	佐保台地区地域自治協議会	40人
8/28(月)	研修会「災害時における民生委員の役割」	三郷町	生駒郡民生児童委員連合会	134人
8/31(木)	災害ボランティア派遣前打ち合わせ	京都府	奈良県防災士会	2人
9/5(火)	防災研修会 「災害に備える(大雨編)」&タイムライン	奈良市	奈良県自治連合会	180人
9/13(水)	奈良防災プラットフォーム連絡会 「9月19日会議に向けたコアメンバーでの打ち合わせ」	—	奈良防災プラットフォーム連絡会	27人

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数
9/15(金)	奈良防災プラットフォーム連絡会 「新規加入団体の承認・災害中間支援組織・今年の提案など」	—	奈良防災プラットフォーム連絡会	27人
9/15(金)	未就園児のいる家庭における防災対策 子育て支援きゆうぴいクラブ	香芝市	香芝市東地区民生児童委員 協議会 母子児童福祉部会	19人
9/23(土)	防災研修会 「大雨が降ると斑鳩町はどうなるの？」	斑鳩町	斑鳩町自治会連合会	100人
10/4(水)	令和5年度大和郡山市民生児童委員 大会「災害時の民生児童委員の役割」	大和郡山市	大和郡山市民生児童委員 連合会	160人
10/4(水)	4年生 三郷町の災害への取り組みに ついて学ぶ	三郷町	三郷町立三郷北小学校	87人
10/7(土)	HUG・避難所開設訓練	吉野町	吉野町総務課	10人
10/15(日)	本部理事会	東京都	日本防災士会	—
10/22(日)	奈良県防災総合訓練における 「避難所開設・運営訓練・医療チーム訓練」	吉野町	奈良県、吉野町、東吉野村、 川上村、上北山村、下北山村	—
10/28(土)	奈良県自主防犯・防災リーダー研修 (防災士養成講座)	奈良県	安心・安全まちづくり推進課	198人
10/28(土)	奈良県自主防犯・防災リーダー研修 (タイムライン地震編＋逃げキッド紹介)	奈良県	安心・安全まちづくり推進課	198人
10/29(日)	奈良市総合防災訓練	奈良市	奈良市&奈良市自主防災 防犯協議会	9,086人
11/4(土)	奈良県自主防犯・防災リーダー研修 (防災士養成講座)	河合町	安心・安全まちづくり推進課	130人
11/4(土)	奈良県自主防犯・防災リーダー研修 (タイムライン地震編＋逃げキッド紹介)	河合町	安心・安全まちづくり推進課	130人
11/5(日)	令和5年度田原地区防災訓練 「日頃の備え いざという時どうする？」	奈良市	奈良市田原地区自主防災 防犯協議会	44人
11/11(土)	令和5年度 斑鳩町防災訓練 「楽しく防災を学ぶ」	斑鳩町	斑鳩町 安心安全課	800人
11/17(金)	當麻小学校防災教室 「紙芝居、簡易ベッド、トイレ等」	葛城市	葛城市當麻小学校	40人
11/19(日)	防災活動フェア 「水害対策逃げキッドの作成、防災意識・危機管理能力の向上」(県自主防災訓練支援事業)	天理市	天理市二階堂上之庄自治会	81人
12/2(土)	日本防災士会臨時総会	東京都	日本防災士会	—
12/3(日)	広陵町防災訓練 「日用品を使った災害時のサバイバル手法の体験」	広陵町	広陵町馬見北6丁目自主防災会	60人
12/9(土)	災害ボランティア研修会①	王寺町	奈良県防災士会	29人
12/12(火)	法隆寺防災訓練 「シェイクアウト、地震時タイムライン研修」	斑鳩町	法隆寺、斑鳩町	31人
12/16(土)	災害VC立上げ訓練	香芝市	香芝市社会福祉協議会	46人
12/21(木)	气象台懇談会(来年度の打合せ等)	—	奈良地方气象台	18人

■連続講座 平群町教育委員会主催

月/日(曜)	連続講座内容	場所	参加人数
8/5(土)	「くらしに活かす防災講座③」ロープワーク、新聞紙スリッパ、マイトイレ	中央公民館	6人
9/9(土)	「くらしに活かす防災講座④」アイマスク体験、心肺蘇生法、AED操作	中央公民館	6人
10/7(土)	「くらしに活かす防災講座⑤」ポリ袋クッキング・動画視聴(水害・地震)	中央公民館	7人

■ラジオ・新聞・テレビ関連

月/日(曜)	番組名、取材テーマ	主催者又は要請団体	担当
10/21(土)	NHK ラジオ「関西発ラジオ深夜便」 「防災を続けてもらうために、私がしている工夫」	NHK 大阪放送局	末田
10/22(日)	奈良県防災士会の特集記事 (10/22 県総合防災訓練の様相を取材)	奈良新聞	末田、八幡領
10/22(日)	法隆寺防災訓練の取材	奈良テレビ放送	植村、小山

■奈良県安全安心まちづくりアドバイザー派遣

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数
8/26(土)	地震時タイムライン研修 (県防災士会バージョン)	河合町	高塚台自主防災会	30人
11/10(金)	明日香村雷大字自主防災会の勉強会	明日香村	雷大字自主防災会	20人
11/18(土)	みんなで考えよう！ 自主防災が「ある時」「ない時」	斑鳩町	北六番自治会自主防災組織	30人
11/26(日)	令和5年度第1回防災勉強会 「実行可能な防災活動について」	奈良市	奈良市富雄みなみ丘自治会	15人

■学校安全に係る学校防災教育の在り方と避難所開設・運営訓練

去る8月3日(木)、午後1時30分から奈良県産業会館5階大会議室にて「学校安全に係る学校防災教室のあり方」と題して防災研修会が開催されました。この防災研修会は、県教育委員会健康・安全課から奈良県防災士会へ講師派遣の依頼があつて行ったもので、第1部として「命をまもる」と題して植村副理事長が講演を行い、第二部として「避難所開設・運営訓練」。第三部として、訓練の振り返りと意見交換を行いました。参加者は、県内の学校教員の方々や学校職員の方約35名が参加。避難所開設・運営訓練では、大規模災害が発生したら学校が避難所になるという自覚を持って参加された方が多く、第三部では自分が勤務する学校の現状や、防災教育をする上での課題などが語られ、熱心な議論が交わされました。また、サポートとして参加した防災士が元教員や現職の教員であったことから、適切なアドバイスや課題の共有が諮られた1日となりました。

〈報告：植村信吉防災士〉



■奈良県自治連合会防災研修会「災害に備える(大雨編)」&タイムライン

令和5年9月5日(火)奈良市はぐくみセンター大講座室において、奈良県自治連合会主催の防災研修会が、県内の自治連合会長の参加で開催され、奈良県防災士会から末田防災士が、「災害に備える(大雨編)」と題した講義とマイ・タイムラインの説明を行いました。

まず舞台に立って感じたのは、参加者の皆さんの「圧」でした。どうやら地域での自助防災や避難行動要支援者プランへの対応などを言っても伝わらないので、その困っている空気感が出ているようでしたが、思わず「怖いですよ」と言ってしまいました。そこで本講義に入る前に自治会活動と防災活動は違うことを少し時間を取って話しました。自治会やPTAなどの活動はいつまでにしなないといけないとか期限があるし、半ば義務的なので、自治会長さんへも通知するだけでやってくれますが、防災は指示されてやってもその場限りになってしまうこと。続けていくための雰囲気作りや、誰から話を聞くかが大事なので、話を聞いてくれる人になるか、話を聞いてくれる人に伝えて話してもらうかという方法がある事を、急遽前半で時間を取って話してしまいました。

参加頂いた方皆さんに伝わったかはわかりませんが、最後はQ&Aで多くの質問もしていただいて、少しはお役に立てたかと思えます。〈報告：末田政一防災士〉

■三郷町の行政や地域の防災について知り災害時に自分の身を守ることを学ぶ

令和5年10月4日(水)生駒郡三郷町の町立三郷北小学校において、4年生が対象の防災授業がおこなわれました。3クラス87名が参加し、三郷町自主防災ネットワークの防災士ら9名で役場総務課、消防団第2分団とともに防災体験ブースの指導をしました。授業は体育館でおこなわれ、最初に役場総務課から三郷町の取り組みやハザードマップや避難についての説明などがあり、次に消防団から大和川氾濫時に実際に住民を救助した時の体験談がありました。続いて三郷町内の自主防災組織の活動について、三室自治会防災部の北村防災士よりお話をしました。防災訓練や地域のお祭りなどのイベントに積極的に協力し「人と人のつながり」をつくる活動を紹介し、危険箇所クイズでは児童といっしょに地震が起きたときの危険なところを考えました。またシェイクアウト訓練を行いました。

続いて各クラスの代表の児童で段ボールのブロック塀体験を行いました。通学中に地震が起きたときにブロック塀や石垣のそばで身を守る行動を取ると下敷きになるので安全な位置まで離れてから身を守る行動を取りましょう、という訓練です。普段やらないことはいざという時になかなか出来ません。だからこそ何度も訓練しましょうとお話しました。

最後は全員を二分して「新聞紙スリッパづくり」と「非常持ち出し品の説明」を20分ずつ交代で体験していただきました。指導にはそれぞれ三郷町自主防災ネットワークの防災士らが担当しました。「新聞紙スリッパ」は両足分をつくり実際に履いて歩いてもらいました。

「非常持ち出し品」は男子と女子で持ち物が変わるので分かれての説明をしました。児童たちも先生方も楽しく体験していただいたようでとても有意義な防災についての学習の機会になったようでした。

〈報告：北村防災士〉



■奈良県防災総合訓練

令和5年10月22日(日)9:00から、吉野町総合運動公園で、奈良県防災総合訓練が行われた。防災士会からは6名が参加し、総合体育館で実施された避難所開設・運営訓練・避難所アセスメント訓練を支援した。吉野町職員が、避難所開設・運営に経験が少ないため、事前にHUGや避難所開設訓練などを行った。訓練当日は、吉野町職員が、避難所要員として活動し、防災士会は、訓練のようすを見守った。今回は、医療チームによるアセスメント訓練も順調に行われた。地元の避難者役の人数を、20名に絞ったため、混乱もなく、役目を終えた。

〈報告：板垣防災士〉



■奈良県自主防犯・防災リーダー研修（防災士養成講座）

令和5年度の奈良県自主防犯・防災リーダー研修が、奈良女子大学と河合町中央公民館の2会場で行われました。この講座は奈良県安全・安心まちづくり推進課が主催する防災士養成講座で、例年受講者は3日間の受講の後に試験を受験する形で行われていましたが、コロナ禍で定員を制限していたことから希望者が多かったため、本年度は各2日間の2日程で合計330名の受講で実施されました。奈良県防災士会からは10月28日（土）にB日程、11月4日（土）にA日程の講義に参加し、一限目は末田防災士が「防災士に期待される活動」として講義を、二限目三限目は「防災士が行う各種訓練」として、マイ・タイムライン地震編の実技訓練を植村防災士が進行し、八幡領防災士がマイ・タイムライン逃げキッドの紹介を行いました。ここ数年はコロナ禍の影響でリーダー研修が中止されたり、定員を大幅に削減しての実施でしたが、本年度はたくさんの新しい防災士が誕生します。防災士として、まずは自分の命を守り、そして地域や職場等で活躍されると思いますが、奈良県防災士会は「会員のスキルアップ」と「会員相互の親睦を図る」お手伝いをしています。常に新しい情報を得るためにも是非奈良県防災士会に参加して、新しい風を吹き込んで頂きたいと願っています。（報告：末田政一防災士）



■奈良市総合防災訓練

令和5年10月29日（日）奈良市全市50地区62箇所の指定避難所において、奈良市総合防災訓練が開催され、9,086名の参加がありました。内訳は「市民5,450名、市職員3,169名、防災関係機関（44機関）200名、その他267名」です。重点会場は「ならやま小中学校」で行われ、32団体が展示を実施。福祉避難所、災害ボランティアセンター、外国人専用避難所における訓練の他、合同訓練や自社訓練を実施されました。また災害対策本部による業務遂行訓練も行われました。奈良県防災士会から重点会場への参加はせず、地域の各避難所での協力として防災士に活躍頂きました。奈良市では累計で1,024名の防災士が認定を受けています。各避難所ではQRコードを使用した「避難所受付システムβ版」を試験運用しました。実際には不具合が多数発見され、混乱した地域もあったようですが、新しい取り組みを住民の皆さんにもご協力を頂きました。（報告：末田政一防災士）

■楽しく防災を学ぶ（斑鳩町防災訓練）

令和5年11月11日（土）斑鳩町立斑鳩東小学校の運動場において、斑鳩町防災訓練が開催されました。「楽しく防災を学ぶ」ことを目的に西和消防署や陸上自衛隊、防災航空隊や栄養士会など10団体が展示や体験ブースを設置し、奈良県防災士会は「防災紙芝居」と「簡易トイレ体験」を担当しました。合計3回上演した防災紙芝居は子どもさん達が元気一杯にクイズに答えてくれて、毎回大いに盛り上がりました。会場には親子連れの方々が次から次へとお越しになり、来場者は800名を数えました。天候にも恵まれ、とても楽しい防災訓練となりました。（報告：小山防災士）



■奈良市田原地区防災訓練「日頃の備え いざという時どうする？」

令和5年11月5日(日) 奈良市田原ふる里ほっとステーションにおいて、令和5年度田原地区防災訓練が実施され、奈良県防災士会から末田防災士が「日頃の備え、いざという時どうする？」と題した山間部向けの講演を行いました。田原地区は奈良市東部山間の面積が広い地域で、奈良市の水源「白砂川」の上流にあたります。平坦部とは災害への備えや対応が違ふところが多いので、隣接の都祁在住の防災士として、事情を知りつつも全体的なことも踏まえた講義をしました。広い地域の中から来られていたので、知っていそうで実はよく知らないこともある「地域の特性」や「地域の人たち」のを知り、災害のことを知り、自分たちに合った方法を見つけるための手助けとなるようにということと、まずは命を守ることを主題にして、地域の特性を活かした活動を行えるように提案をし、最後にマイ・タイムラインも実施しました。過去の訓練でいろいろなところから講義に来てもらっていたが、一番わかりやすかったと言って頂いて、また同じ山間部のお隣の地域在住なので、今後の連携も考えていく良い機会となりました。 <末田政一防災士>

■災害ボランティア基礎講座（1回目）

令和5年12月9日(土) 王寺町文化福祉センターにおいて令和5年 災害ボランティア基礎講座を開催しました。(奈良県防災士会 ボランティア登録者及び、今後、活動に興味のある方を対象とした基礎講座) 開催に際し、このような時期にも関わらず県内各地より、多くの方にご参加頂きました事、大変ありがとうございます。今回の講座は、八木沢防災士(王寺町)、大坂間防災士(上牧町)が主体となり、近年多く見られる自然災害発生後の災害支援として行うボランティア活動について理解を深めて頂き、今後、より多くの方に活動へ参加頂ける事を目的として、実際の支援活動で経験した事、聞いた事などをお伝えしながらの講座となりました。また、普段の講座とは異なり全2回講座となっており、次回(2024/1/13)は実技を取り入れた内容であることから多くの方にご参加頂いているのでは? と思っております。

基礎講座2回目は安全についても配慮しながら、現場で役立つ事を体験頂く計画をしておりますので、受講者の方は楽しみにお待ち頂ければと思います。また、開催にあたり、まだまだ進行の不便だったり、説明不足な点も多く、反省する事ばかりですが、有難い事に、受講者様からのアンケート結果においては、目的の一つである災害ボランティアへの参加について、前向きなご回答を多く頂いた事を大変嬉しく思っており、今回講座については概ねご評価頂けたのではないかと考えております。奈良県防災士会では、災害ボランティアへの登録を引き続き募集しております。興味のある方、一緒に活動頂ける方は、奈良県防災士会までメールにてお問合せください。(Email: mail@bousainara.com) <報告:大坂間 防災士>



講師が災害ボランティア活動に赴く際の実際の服装と装備を披露



■法隆寺防災訓練

令和5年12月12日(火) 法隆寺の聖徳会館において、斑鳩町・法隆寺主催の防災訓練が行われました。2014年から毎年実施されている本訓練は今年で10回目を数え、毎回、斑鳩町の要請を受けて奈良県防災士会が支援をしています。今年は奈良県防災士会から防災士11名が参加し、地元自治会や自主防災組織、法隆寺の僧侶など31名の皆さんを対象に「シェイクアウト訓練」や「地震時タイムライン研修」

などを行いました。シェイクアウト訓練は石川防災士、地震時タイムライン研修は村山防災士、講評は植村防災士がメイン講師を務めました。



本訓練は当日放送の奈良テレビ「ゆうドキッ！」で取り上げられ、斑鳩町の中西和夫町長や法隆寺の古谷正覚管長がシェイクアウト訓練に取り組んでおられる様子などが紹介されました。

〈報告：小山防災士〉

■香芝市社協 災害ボランティアセンター設置運営訓練

2023年12月16日(土)香芝市総合福祉センターにおいて「香芝市社協 災害ボランティアセンター設置運営訓練」が開催され、奈良県防災士会より10名の防災士が参加しました。訓練は運営側とボランティア役とに分かれ、レクチャーを受けた後に各パートでの個別演習を行い、その後全体を通した一連の訓練を行いました。ICTを活用したQRコードでの受付と地図情報の共有、ニーズ受付は従来手書で大変な作業であったが、クラウド上で管理する事で支援抜けが防止でき、ボランティア活動依頼受付票、活動紹介票(ボランティア用とセンター用)が一括管理・出力できるなど、今やボラセン運営に欠かせないツールである事がわかりました。振り返りでは、「オリエンテーションで動画を視聴するのみでなく、ボランティア活動での注意事項は運営側がきちんと説明すべきである」「地図を貼り出し、支援に行く地域や通行できない道などの地元の情報がボランティアにわかる様掲示すべき」との貴重な意見がありました。今回は時間の関係か、リーダーが活動後に報告する「活動報告」の訓練が無かった事が残念です。県防災士会メンバーの中には、本年6月の台風で浸水被害を受けた和歌山県海南市の災害ボランティアの活動経験者も居ました。経験から得られた知見+ICTを組み合わせれば、より実践的な訓練になると思います。次回の訓練も期待しております。



〈報告：八木沢防災士〉

■平群町連続講座

●令和5年8月5日(土)平群町総合文化センターにおいて連続講座3回目が行われました。受講者は6名。前半はロープワーク(本結び・巻き結び・もやい結び)を学びました。後半はスリッパ、マイトイレを新聞紙で作りました。参加者の皆さんは楽しい時間だったと喜んでおられました。

〈担当:村山防災士〉

●アイマスク体験(一緒に歩こう)・心肺蘇生(AED)体験

令和5年9月9日(土)平群町総合文化センターにおいて連続講座4回目が行われました。受講者は7名。前半は平群町社会福祉協議会(岩上、本多職員)から「目の不自由な人と町を歩くため」をテーマに災害時に避難所まで安全で安心して行けるように正しい知識を学びました。後半は、伊藤防災士による「心肺蘇生法の手順」と「AED操作」を学びました。

〈報告：堀田防災士〉



●ポリ袋クッキング・動画視聴(水害・地震)

令和5年10月7日(土)平群町総合文化センターにおいて連続講座5回目が行われました。受講者は7名。堀田防災士による動画視聴(大雨水害関連・東日本大震災関連)と、小山防災士から災害時の食についてとポリ袋クッキングを学びました。

〈報告：堀田防災士〉

鳥取市佐治町先遣隊報告

令和5年8月19日午前 台風7号により甚大な被害を受けた鳥取市佐治町を先遣隊として訪れました。現地入りしたのは、植村相談役兼副理事、板垣理事、大坂間の3名。目的は被害状況を鑑みて、今後の支援などを検討することでした。ボランティアセンターなどの開設など地域の受援要請があれば、対応すべく派出する体制を整える。佐治町では道路の崩落や断水などの被害が出ている状況で、通常なら5分程度でアクセス可能な主要道路が寸断しておりアクセスが出来ず。山肌沿いにある幅員の狭い道が迂回路として唯一の道となっていました。幸い早い時間に到着したので、対向車はそれほど多く無く難なく離合できましたが、戻りは災害支援の大型車両に出くわす機会も多く、より慎重な運転を余儀無くされた状況でした。迂回路を通り佐治町の中心部となる佐治町総合支所へ向かい、まず目にした光景は、道路の決壊と陥没でした。

改めて、自然の怖さを目の当たりにしたところです。現在も断水や一部停電が続いており、給水にお越しになった住民の方からはお話を伺うことが出来、水が出ない事への不安として、生活用水やトイレについて困っていると話し頂きました。被災して余り時間がたっていないこともあり、ニュース報道のように行政機関の方々の調査や道路など応急復旧が進められている状況で、被災全容も不明、すぐに我々が現地に入り活動出来る状況では無いと思われました。

今後も地域の情報に注目して、必要な支援を検討していきます。今後も全国各地で発生している災害支援を継続すべく、災害支援に関する研修会も計画したく考えております。〈報告：大坂間防災士〉

今後の活動予定

■奈良県防災士会 総会・研修会・懇親会

- 2024年5月26日(日) 場所：なら100年会館(中ホール)

詳細は4月下旬頃、会員様宛に発送する予定です。

事務局からのお知らせ

奈良県防災士会のウェブサイトをご存知ですか？イベントのお知らせや、活動報告は、

「奈良県防災士会」で検索！

奈良県防災士会のウェブサイトでは、会員のスキルアップのため、県内で開催される防災訓練の情報をスケジュール欄に掲載しています。併せてお手伝いの募集も行っています。予約制となりますので、見学を希望される方は、事前に事務局までメールで申込をお願いします。

投稿記事募集！

奈良県防災士会会員の皆さまからの、「災害復興支援」や「防災訓練」の活動報告をお待ちしています。当会のウェブサイト、Facebookページ、広報誌で公開可能なレポートをお寄せください。

- 送り先 **mail@bousainara.com**

- テキストおよび写真（肖像権など差支えないもの）をお送りください。



奈良県防災士会のFacebookを公開し、さまざまな情報をアップしています。「いいね！」をよろしくお願いします。

「Facebook 奈良県防災士会」で検索

- 発行日 2024年1月1日
- 発行者 特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 末田政一
〒632-0221 奈良市都祁白石町1192-190
- 編集 特定非営利活動法人奈良県防災士会 広報部会

- E-mail mail@bousainara.com
- FAX 050-3488-8178
- ウェブサイト <http://bousainara.com>
- Facebook <https://www.facebook.com/bousainara>